

安城市SDGs 公民連携地域課題解決支援業務 質問内容回答

令和7年4月15日

企画政策課回答

No	質問	回答
1	地域課題の選定に関して、“絞り込むことを支援する”とは具体的にはどういったことまで行うのを想定されているのでしょうか？ (昨年どうやったか等の具体的な受注者の作業内容を教えてもらえますか？)	発注者による課題の選定に対して、専門的な観点から助言等を行っていただき、より公民連携に資する取組みを選定できるよう支援していただくことを想定しています。
2	課題解決の為の民間企業の募集に関して、もし手を挙げてくれる民間企業が1社もなかった場合などはどうなりますでしょうか？ (受注者はどこまでの作業責任を請け負うのでしょうか？)	民間企業等の提案数については指定しませんが、提案が一件も上がらないことがないよう、提案が見込まれる課題を選定する必要があると考えており、その点を踏まえた提案としてください。
3	地域課題解決は募集で手を挙げてもらった民間企業と受注者でどの程度まで協働するのでしょうか？(実証実験も一緒に行うのでしょうか？)	課題解決に向けた実証実験は民間企業等と発注者が行います。
4	民間企業への実証支援金(1,000千円)は、今回プロポーザル費用の420万円とは別で支払われるという認識でよろしいでしょうか？ また、その実証実験支援金は、選定された取り組み課題がもし4件の場合は1案件ごとに1,000千円支払われるという解釈でよろしいでしょうか？ (1,000千円×4案件=計：4,000千円)	民間企業等への実証支援金は、本業務に係る委託料とは別に発注者が負担します。実証支援金は1案件ごとに1,000千円ではなく、総額で1,000千円です。
5	必要に応じて実証支援金が支払われるということは、基本的には、課題解決の実証実験は、プロポーザル予算の420万円の中から費用を使い行ってもらおうということでしょうか？ (不足する場合にのみ1,000千円が支払われるということでしょうか？)	実証支援金が必要な提案については発注者が費用を負担します。ただし、本業務に係る委託料から実証支援金を負担する提案を拒むものではありません。
6	“その他”の項目に記載されている、『STATION Aiとの連携』とは例えばどういったことを意味するのでしょうか？	公民連携に関する有益な情報や民間企業等との繋がりを、STATION Aiとの連携により獲得したいと考えており、そのために有効な連携方法の提案を期待します。
7	他のパートナー制度事業(あんじょうSDGsフェスタ等)との連携に関して、これらのイベントを実施連携する上で発生する費用もプロポーザル予算の420万円中でまかなうという事でしょうか？	本業務を実施するうえで必要な費用については、本業務の委託料の範囲内で実施してください。
8	今年度の事業のゴールについて質問です。仕様書では、民間企業を選定した後の実証について記載がありませんが、今年度中に実証の実施完了までを目指すのか、企業選定まで、実証の完了は来年度にまたがってもよいのか教えて下さい。	実施完了については年度内に拘りませんが、民間企業等を選定した時点で実施の目途が示された状態となることが望ましいです。
9	仕様書2の(1)「課題募集」について、昨年度は5月に募集を行っていますが、今年度については、募集期間を設ける想定でしょうか。あるいは通年で募集するようなイメージでしょうか。	募集期間を設け、かつ通年でも募集を行う想定ですが、募集期間や募集方法についての提案を拒むものではありません。
10	仕様書2の(2)「課題選定」で「収集した情報から、専門的な視点から発注者が課題を4件程度に絞込む」とありますが、本事業で取り組みに値する課題が募集時点では十分に集まらなかった場合、募集期限の延長や庁内に再度照会することなども想定していますでしょうか。	募集期限の延長や庁内への再照会も想定しています。
11	仕様書3の(5)「その他」に「あんじょうSDGs 共創パートナー制度の事務局会議」という記載がありますが、どれくらいの頻度で開催しているのでしょうか。また、開催方法はリアルのみでしょうか。	月1回程度の開催を予定しています。開催方法は、状況によりオンライン開催とすることもありますので、オンラインでの参加も差し支えありません。